

アフガニスタンを知って、 そして忘れないで！

講師：春木信韻さん

7月2日（月）に神南中学校の3年生約70名を対象に、国際理解出前講座「アフガニスタンを知って、そして忘れないで！」を実施しました。

講師は、地雷で手足を失った人に義肢を作って届ける活動を続けておられる春木信韻さんです。これまで300人近くの方々に義肢を届けてこられました。



アフガニスタンの国境では「一日に6～7人が地雷の被害に遭っています。今日あなたがそのうちの1人になりませんように」と看板に大きく書かれているそうです。

乾燥した土地でありながら、高山からの雪解け水が豊富で農業の盛んな国でしたが、紛争によってかつての美しい風景や歴史遺産は失われてしまいました。

治安の悪化により現在はビザが下りず、渡航ができなくなっていますが、3Dプリンタを使って義足を作るなど新たな試みに取り組んでおられます。

アフガニスタンの子どもたちは、学校が大好き。学校といっても教室が足りず、校庭に椅子を並べただけだったり、授業が1時間だけだったりするそうです。それでも片道何時間もかけて歩いて登校します。春木さんは、「義肢を届けることは夢を届けること。義足で歩けるようになったら、学校に通って、将来は人の役に立つ仕事をしてほしい。」とおっしゃいます。中学生のみなさんは春木さんのお話をどのように受け止めたのでしょうか。

